

# 東京教区時報

第1042号  
2007年7月1日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◆7月の代祷・信施奉獻先  
▽アジア学院のため▽海の主日のため(7月第2主日・7月8日)▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家HELIPのため

## ◆とこしえの平安

6月7日 志賀 信秀(97) 小金井  
6月8日 田島 真春(88) 聖パウロ  
6月10日 阿部 親興(84) 聖マールガレット  
6月10日 中島 重高(78) 真光  
6月12日 仁科満智子(73) 聖十字  
6月16日 瀬崎 義雄(77) 目白

## 今週・来週の予定

7月1日~14日

- 1(日) 聖霊降臨後第5主日  
主教巡回  
東京聖テモテ教会
- 5(木) 下町G 牧師協議会  
(聖ルカ)
- 6(金) 職員会議
- 7(土) 「障害者」関連:お話を  
聴く会(聖バルナバ)
- 8(日) 聖霊降臨後第6主日  
主教巡回 神愛教会
- 10(火) 銀座朝祷会  
常置委員会
- 11(水) エルサレム教区協働委  
員会
- 12(木) 主教座聖堂活動委員会
- 13(金) 広報委員会  
聖職養成委員会

▽浅草聖ヨハネ教会でゴスペル  
コンサート 地元グレイトフル・  
ブレイズ浅草と、恵比寿のゴスペ  
ルクワイヤーの共演、さらにゲス  
ト・シンガーズを迎えての「熱い  
ゴスペル」…。7月14日(土)  
16時開演。入場無料。会場電話03  
(3851)9521。  
▽銀座朝祷会 ・7月10日  
(火)7時半~9時半、ルノーア  
・8月中は休会。  
ル喫茶室ニュー銀座。感話II三原  
一男司祭(横浜教区市川聖マリヤ  
教会牧師)。・24日および8月  
中は休会。  
▽西新の会(第2・4火曜、井  
草地域区民センター) ・7月10  
日19時半~21時、聖餐式II高橋頭  
司祭。・24日10時半~12時、聖  
書の学びII河野裕道司祭。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

私が少女の頃でした。ある朝、庭掃除を  
している時、心の底から「私は結婚しない  
で、聖なる方に身を捧げたい」という思い  
が浮かんできました。今考えると、これは  
召命であったかと思いますが、何もわか  
らず、意識下に秘めたまま成人しまし  
た。親のすすめの

《恵みに生かされて》  
わが旅路を導く神

まま結婚しました  
が間もなく夫は出  
征して戦死し、出  
征後に生まれた男  
の子は4歳で病  
死、その3ヶ月後

佳世子修女

女会に入会、誓願を立  
ててから52年になりま  
す。90歳を越し、肉体  
は衰えましたが、御心  
を知らず、世の荒波に  
もまれていた私を、神

に、米軍の空襲で全市は焼野ケ原とな  
り、私は身一つで田舎に避難しました。終  
戦直前でした。苦難の数年後、私は上京し  
て就職しました。社長の夫人が熱心なク  
リスチャンで、私を教会に導いて下さい  
ました。聖公会の聖餐式に出席した時、心  
の故郷(ふるさと)に帰ったような安らぎ

はお見捨てにならず、お導き下さつ  
て、召命を成就して下さいました。神の誠実  
な愛と賜わった数々の御恵みを、心か  
ら感謝して、聖名を賛美しながら、日々  
の旅路を歩んでおります。

(ナザレ修女会)

正義と平和協議会運営  
委員会報告(6月26日)

冒頭、出席者数(臨席・陪席を含む7人)の關係から懇談会として開催することを確認。

正義と平和協議会(6月16日)記録の構成員宛メール配信、運営委員1泊研修会(7月例会・7月15日～16日・ナザレ修女会)プログラム、子どもへの「8・15平和メッセージ」発行、教員の思想信条支援取り組み、協議会運営規定見直しなど種々、意見交換し、継続審議とした。

## ▽日韓聖公会青年セミナー

昨夏、日本で行われたのにつづく第2回で、「平和の地で平和の種になろう」、8月9日(木)

14日(火)、韓国ソウルで開か

れる(日本聖公会青年委員会と韓国側の協働委員会の主催)。東京教区では中村真希(信仰と生活委員会)青年担当委員が窓口となり7月6日(金)～7日(土)、名古屋での参加者事前準備会その他、実施に向けて備えている。日本からの参加は各教区から1、2名で、東京教区からは中村真理、広谷基子さんの2人(聖マルコ教会)。

## ▽東京聖マリア教会「屋形船ダイナークルーズ」

昨年、好評に応え60人乗りをチャーター、8月19日(日)17時～20時、東京湾納涼と夕食を楽しむ。城南

教会グループ協賛。会費6千


円。定員60人(先着順・家族知友の同伴歓迎)。照会・申込みは同教会へ、電話03(3492)2982。

## ▽COA(青年有志による中

高生世代活動支援団体)サマー活動 毎月第3主日には浅草日曜給食活動にボランティア参加しているほか、種々独自の中高生発案企画を展開している。今夏は、海の日を高尾山へ山登り(7月16日・月・休日)とキャンプ(8月13日～16日・長野県湯の丸高原)を柱に中高生同士の横の懸け橋、教会の場に触れる機会づくり…にと活動中。

## 【07年教区フェスティバル】

9月24日(月・休)・立教小学校

《聞く・信じる・食べる》

## 【学びと働きから】49

## SS連絡会スタッフ会

時にはSSスタッフも思いっきり主教さまと触れ合って、元氣と自信を頂こうと「SS連絡会主教と語ろう」を企画し5月末、密度の濃い学びをしました。「自身」のSS時代を語られながら「教会には子ども達が日常の中で神さまに出会おうべく、神秘さ・不思議さの、目に見えないものを見る心の環境教育が課せられている」と説かれ、一同深く受け止め、領き合いました。

SS連絡会スタッフ会は「子どもの声があふれる教会をめざして」をテーマに、子どもニュース発行、講演講習会企画、並行して子ども関連イベントなど積極的に支援しつつ、SS奉仕者

仲間が、子ども達への想いを共有し分ち合い信仰を深め祝福される場を作ること、を願ってきました。それでも教区内の各SSには、それぞれの深い想いが内蔵されていることを痛感します。それを受けて今、「SSの位置」についての、教会内の意識改革の「術」を探しているところです。

主教さまの言われる「SSの中心の礼拝」を守りながら、折に触れ大人の聖餐式や祈りの場にも立ちその中で聖霊を豊かに心に受けて、すくすく育つ子ども達でありますように！ そのことを大切に考えるSS連絡会でありたいと祈りつつ。

スタッフ 今井信子

(聖マーガレット教会)

▽: 数年前になるが京都教区で「子どもといっしょキャンペーン」というのを行っていたことがある。文字どおり各教会で、どんなことでもいいから子どもと一緒に出来ることを考えてやってみようというところらしい。とてもユニークな発想だと思ふ。

私たちの教会でも、1年か2年毎に何かテーマを決めて重点的に取り組んでみたらどうだろうか。たとえば、「近所の人」や「教会から離れている人」「教会のお年寄りの孫への働きかけ」など。限られた人数で沢山のことをしようとしても、どれも中途半端になるおそれがある。的を絞って、しかもみんながアイディアを出しあいながら楽しく宣教ができたらと思う。(YW)